

【実践報告】

「学校教育の体験活動（小）」の報告

広島文教大学教育学部教育学科

教授 佐伯 育郎 准教授 戸井 一宏

講師 江尻 沙和香

教職センター 特任講師 小川 雅史

1 はじめに

本授業は、1年次の「児童の理解」における学修を発展させる科目であり、3年次以降の「教育実習」の導入としても位置付けられる。本科目の目標は、「児童の理解」で学んだ知識・身に付けた技術を基に、小学校教育の実際を体験的に理解し、教育者としての愛情と使命感を高め、将来教員になる上での能力や適性を考え、課題を自覚するとともに、教育実践及び教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付けることである。具体的には、次のとおりである。体験活動の事前指導を通して、教育実習生として小学校の教育活動に参画する意識を高め、体験活動後の省察により、教員免許取得までに身に付けるべき知識や技能等について理解する。児童や教育環境等に対する観察や関わりを通して、小学校の児童の実態及び実態に応じた教育活動の特色を理解する。大学での学びと体験活動とを結び付けることで、専門的な知識、理論及び技術等を小学校教育の場で実践するための基礎を身に付ける。

2 2024年度の授業概要とスケジュール

月日	授業回数	授業概要
4/10	1	前期オリエンテーション、ボランティア事前調査
4/17	2	SNS・個人情報、学校支援活動、実習校希望調査
4/24	3	体験活動の配属学年、体験活動の目的・目標、自己の目標、自己紹介文
5/ 1	4	自己紹介文の交流・助言、助言を受けて修正・提出
5/ 8	5	自己の目標の交流・助言、自己紹介文の添削について
5/15	6	学校支援活動、子どもとの接し方、自己紹介文、自己の目標の提出方法
5/22	7	授業観察・記録の方法、子どもとの接し方、観察記録
6/ 5	実習	安芸高田市立吉田・八千代・愛郷小学校での現地実習（3校時から放課後までの参加）
6/19	8	現地実習の振り返り、お礼状の分担、お礼状の下書き
6/26	9	お礼状の清書・幼小合同交流会の準備
7/10	10	幼児教育の体験活動との合同交流会
7/17	11	内諾説明会の補足、学校支援活動、前期の振り返り
10/ 2	12	後期オリエンテーション、ボランティア現状調査
10/ 9	13	ボランティア現状調査の報告、ボランティア活動状況報告会に向けて
10/30	実習	島根県 旭・原井・矢上小学校での現地実習（3校時から放課後までの参加）
11/ 6	14	現地実習について、ボランティア活動状況報告会①
11/20	実習	広島市立祇園・八木小学校での現地実習（1校時から5校時までの参加）
12/ 4	15	現地実習の振り返り、お礼状の分担、お礼状の下書き
12/18	16	ボランティア活動状況報告会②

月日	授業回数	授業概要
1/15	17	幼児教育の体験活動、学校教育の体験活動（中）との合同交流会
1/22	18	全体のまとめ・今後の実習に向けて、教育実習Ⅰ（小）ガイダンス

3 成果と課題

今年度は、昨年度に課題として挙げていた観察実習受入先の新規開拓を行い、観察実習の回数を増やすことができた。2024年10月17日に島根県教育委員会と「教員養成に関する協定」が締結されたことをきっかけに、島根県教育委員会から複数の受入先校の斡旋があった。その中から交通の便や学校規模を鑑み、浜田市立原井小学校、浜田市立旭小学校、邑南町立矢上小学校の3校を決定した。これにより、6月の安芸高田市立小学校、10月の島根県小学校、11月の広島市立小学校への合計3回の観察実習を行うことができるようになった。学校規模や児童・地域状況も異なる様々な学校の実態を観察することができた。さらに、実習校での滞在時間を増やすこともできた。実習校によって異なるが、休憩時間などを通じて児童と交流する時間を確保したり、放課後先生に質問する時間も確保したりすることもできた。

これら実習で学んだことを異校種で共有し発達段階に応じた指導の工夫を理解するため、「学校教育の体験活動（幼・中・高）」受講生も参加する合同交流会を開催した。幼・小・中高と校種をつなぐ学びの場が得られた。

また、20時間のボランティア体験を受講生全員に課すことができた点も成果であった。ボランティア活動報告会も、2回実施することができた。

課題として、観察実習、ボランティア活動に従事する際の学生の姿勢が挙げられる。

観察実習に際しては、事前指導を複数回行い、目的意識を持たせて臨んだが、一部の学生の姿勢に課題が見られた。これは観察実習の前週に授業が設定されておらず事前指導が十分ではなかったことも原因として考えられる。また、ボランティア活動についても、受入先の学校から一部の学生の姿勢に課題があるとの声を聞いた。来年度は事前指導を再度直前にも必ず行い、より充実した体験活動となるよう改善していきたい。



【現地実習（観察・参加実習）の様子】